

1月の学級づくり【小学校版】

新しい年を迎え、新鮮な気持ちでスタートする1月です。冬休みの楽しい思い出を語り合った後は、冬休みの不規則な生活習慣を引きずらないように、生活を立て直すことが大切です。生活や授業のルールを再確認し、学級としての残り3ヶ月間の目標を立てたいものです。



体力アップで学級づくり

長野県版運動プログラムより

【人工衛星とんだ】

5人以上でグループを作り、手をつないで輪になります。「人工衛星とーんだ」と声を出し、腰を落として両足を踏ん張りながら両手を力いっぱい引き合います。体のバランスをとりながら力試しをする運動です。

【スキンシップ新聞紙】

グループで協力と工夫をして、新聞紙の上に如何に乗るかを競うゲームです。だんだん乗る人数を増やして、新聞紙の上に乗れなくなった時点で終了です。新聞紙の枚数を変えたり、並べ方を変えたりすることもよいでしょう。

次に、新聞紙を丸めて棒状にします。手のひらにのせて落とさないようにリレーを行います。教室にコースを作ると楽しく遊べます。

1年の目標を少し具体的に

目標を短冊に書いて掲示する、作文を書く、習字で書いてみる・・・いろいろな表し方があります。書いた目標を達成できた喜びを味わえるように、具体目標にして掲示しておき、振り返られるようにしたいですね。

新年を迎えて、改めて目指したい自分と、そのために1、2、3月と具体的にを行う事柄や成果と課題を書いてファイリングし、具体目標を更新する方法もあります。

各月の初めにそれを見て、友と自分を振り返ることで、目指す自分に近づく自己肯定感と、課題を同時に見いだせるのではないのでしょうか。また、その時に、先生の一言コメントを添えると、一層効果的です。

ノロウイルスになんか負けないぞ

大流行中のノロウイルスによる感染性胃腸炎。学級指導の時間に予防策を確認しましょう。

指導のポイント

- 1 石けんを使ってしっかりと手洗いをする。
- 2 具合が悪い人は、給食当番をしない。
- 3 日頃から、早寝に心がけ疲れをためない。
- 4 もし、吐いてしまった人がいても、処置は先生に任せ、近づかないようにする。

給食前に手洗いできたかどうか、確認することが大切です。グループごとに「見返しカード」を用意し、互いに声をかけ合って手洗いに取り組むようにするのも一つの方法です。気持ちを一つにした感染予防の取組は、まとまりのあるクラスづくりにもつながります。

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～場面の切り替えが難しい～

「手、指先の巧緻性にぎこちなさがあり、作業に手間取る児童」には

全体より先に個別に声をかけ、次への準備の時間を十分にとってみては。

「時間の見通しがなく、活動の切り替えが遅くなってしまう児童」には

普段からタイマー等を使って、終わりまでの見通しをもちやすくしてみては。

「注意集中の面で偏りがあり、周囲の動きに気付けない児童」には

一緒に遊んでいる友だちに、教室へ戻るときには、毎回、声をかけて誘ってもらおうようにしてみては。